

# 道 標 (みちしるべ) 第58号 校長 稲垣 達也

## 「教室はまちがうところだ」 蔦田晋治

第2回 PTA 全体会で紹介した詩です。教室は、間違いながら答えを探していくところ。

私が学級担任だったころ、学級づくりの最初によく読んで聞かせていた詩です。授業の在り方も然りです。

教室はまちがうところだ  
みんなどしどし手を上げて  
まちがった意見を 言おうじゃないか  
まちがった答えを 言おうじゃないか

まちがうことを おそれちゃいけない  
まちがったものを ワラっちゃいけない  
まちがった意見を まちがった答えを  
あじゃあないか こうじゃあないかと  
みんなで出しあい 言い合うなかで  
ほんとのものを 見つけていくのだ  
そうしてみんなで 伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない  
答えをしなくちゃならんと思って  
そういうところだと思っているから  
まちがうことがこわくてこわくて  
手も上げないで小さくなって  
黙りこくって時間がすぎる

しかたがないから先生だけが  
勝手にしやべって生徒はうわのそら  
それじゃあちっとも伸びてはいけない

神様でさえまちがう世のなか  
ましてこれから人間になろうと  
している僕らがまちがったって  
なにがおかしいあたりまえじゃないか

うつむきうつむき  
そうっと上げた手 はじめて上げた手  
先生がさした  
どきりと胸が大きく鳴って  
どぎっどきりと体が燃えて  
立ったとたんに忘れてしまった  
なんだかぼそぼそしゃべったけれども  
なにを言ったか ちんぷんかんぷん  
私はことりと座ってしまった

体がすうっと涼しくなって  
ああ言やあよかった こう言やあよかった  
あとでいいこと浮かんでくるのに

それでいいのだ いくどもいくども  
おんなじことをくりかえすうちに  
それからだんだんどきりがやんで  
言いたいことが言えてくるのだ

はじめからうまいこと言えるはずないんだ  
はじめから答えが当たるはずないんだ

なんどもなんども言ってるうちに  
まちがううちに  
言いたいことの半分くらいは  
どうやらこうやら言えてくるのだ  
そうしてたまには答えも当たる

まちがいだらけの僕らの教室  
おそれちゃいけないワラっちゃいけない  
安心して手を上げろ  
安心してまがえや

まちがったってワラったり  
ばかにしたりおこったり  
そんなものはおりやあせん

まちがったって誰かがよ  
なおしてくれるし教えてくれる  
困ったときには先生が  
ない知恵しぼって教えるで  
そんな教室作ろうやあ

おまえへんだと言われたって  
あんたちがうと言われたって  
そう思うだからしょうがない

だれかがかりにもワラったら  
まちがうことがなぜわるい  
まちがってることわかればよ  
人が言おうが言うまいが  
おらあ自分であらためる  
わからなけりゃあそのかわり  
誰が言おうとこずこうと  
おらあ根性曲げねえだ

そんな教室作ろうやあ

